

丸善雄松堂ブースでは、お客様へのご案内をよりスムーズにするため、事前アポイントの 受け付けを行っております。

### ■ 事前アポイント 3つのメリット

- ✓ 時間指定が可能のため、効率的に展示会場をご見学いただけます。
- ✔ 優先的にご案内しますので、お待たせいたしません。
- ✓ 商材・サービスの担当者がお迎えいたしますので、具体的なお話が可能です。

### ■ お申込み

右のQRコードまたは下記のURLからWebに アクセスのうえお申込みください。





事前アポイント申込締切 6月12日(水)

### ブース内ミニプレゼン情報



丸善雄松堂ブースでは、会期中、以下のテーマでミニプレゼンを行います。ぜひお立ち寄りください。

### ■開催日時

毎日、複数回開催予定 ※各回15分程度

### ■ プレゼンテーマ(予定)

- ① 講義資料や教材を活用したアクティブラーニングの構築 Maruzen eText Service
- ② ICT教育のためのアクセシビリティに優れた電子図書館 Maruzen eBook Library
- ③ アクセシビリティと学習をサポート リアルタイム字幕サービス

### ■ 詳細

上記の他、デモンストレーションも実施 予定です。詳細は、右のQRコードまたは 下記のURLからWebにアクセスのうえご 確認ください。⇒ https://bit.ly/2YliPjV



写真: 2018年関西EDIX



### ■ お問い合わせ

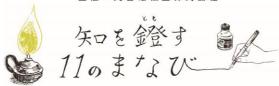
丸善雄松堂 EDIX事務局

E-mail: mv edix@maruzen.co.ip

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル

### 「丸善」創業150周年記念連続講演会

主催: 丸善雄松堂株式会社



丸善雄松堂では、2019年1月に迎えた「丸善」創業150周年を記念し、様々な分野の研究のトップランナーを講師にお招きして、「人はなぜ、まなぶのか」をテーマに、全11回の連続講演会を開催しております。ぜひご参加ください。

### ■ 直近の開催情報

「第3回講演]

日 時:6月27日(木)18:30~20:00

テーマ: **強いAI、弱いAI** 講 師: 鳥海 不二夫氏

(東京大学大学院工学系研究科 システム創成学専攻准教授)

### 「第4回講演]

日 時:7月17日(水)18:30~20:00

テーマ:宇宙はいかに誕生したのか?~物理学と天文観測によって

描く創世記 講 師: 佐藤 勝彦氏

(日本学術振興会学術システム研究センター所長)

### 「第5回講演〕

日 時:8月8日(木)18:00~20:00 テーマ:**知の再武装の時代に向けて** 

講 師:寺島 実郎氏

((財)日本総合研究所会長、多摩大学学長、一般社団法人寺島文

庫 代表理事)

※場 所:日比谷図書文化館B1F 大ホール〈定員200名〉

※参加費:無料

### ■ 詳細・お申込み

右のQRコードまたは下記のURLからWebにアクセスのうえ ご確認ください。

⇒ http://150th.maruzen.co.jp/manabi11/

### 「丸善」創業150周年記念サイト 公開中!!

丸善雄松堂、丸善ジュンク堂書店、丸善出版では、周年を記念し、様々な企画を開催しています。詳細は、右のQRコードまたは下記のURLから特設サイトにアクセスのうえご確認ください。 $\Rightarrow$  http://150th.maruzen.co.jp/





# 丸善雄松堂出展のご案内

### 🖁 教育 ITソリューション EXPO

〔出展コンセプト〕

誰もがまなび続ける 社会の実現に向けて

学習者中心 「ラーナーセントリック | な学習環境を考える

### ■ 皆様のご来場をお待ちしております。

大学関係者/研究者/教育委員会関係者/大学・ 公共図書館関係者/学習者中心の学習環境の構築 に興味がある方など

会期 2019年6月19日 (水) ~21日 (金) 10:00~18:00 ※最終日は17:00まで

場所 東京ビッグサイト 青海展示棟

学校業務支援ゾーン「A5-1」



学習環境の変化を 支える丸善雄松堂 の商材・サービス

### 誰もがまなび続ける社会の実現に向けて



Tools

**「0018** 何を使ってまなぶ?

電子図書館や電子教科書・教材、 デジタルアーカイブ、MOOCsなど の技術が発達し、いつでもどこで も世界中の資料や授業にアクセス できるようになりました。今後は AR/VRやAIといった新しい技術の 普及により、学習コンテンツを享 受する方法はさらに変化します。



Space / Time どこでいつまなぶ?

学習者中心

教育機関が中心だった従来の学習 環境は今後、近隣住民も利用可能 な大学の研究施設やNPOなどの社 会課題の現場、さらには自動運転 中の車内など、学習者の所属や場 所、時間にしばられないまなびを 支援する環境へと拡張していきま す



Community of Learners

誰と/誰にまなぶ?

先生と学生あるいは生徒といった 既存の一方通行な関係性だけでな く、今後は地域の企業や行政の関 係者、オンラインで意気投合した 仲間など、共通の興味や問題意識 を持つもの同士の教え合い・まな び合いのコミュニティがますます 増えていきます。





Content

従来の教科学習に加え、STEAMな

どの文理横断的な教育手法や社会

課題を意識したPBLを通して、批

判的思考や「学び方を学ぶ」など

の認知およびメタ認知スキル、あ

るいはコミュニケーション力をは

じめとするソフトスキルを培う学

何をまなぶ?









「ラーナーセントリック」な学習環境を考える

### 知的コンテンツの開発・発信

### まなびの場(機会)の提供

### 知とまなびのニーズマッチング

1

### <u>講義資料や教材を活用した</u> アクティブラーニングの構築

Maruzen eText Service

授業・講義ごとに電子教科書・教材を配信し、学習環境をサポートするしくみです。学習支援システム(LMS/ラーニンヴ・マネジメント・システム)や電子シラバスとの連携により、学生の学習環境だけでなく、教員の教育方法も変わります。

7

です。

運営を支援

## 大学公開講座のプロモーションと

ICT教育のためのアクセシビリティ

60.000点以上の電子書籍をご提供し、

720機関以上でご利用頂いている日本最

大の電子図書館サービスです。読上・

動画配信などの新機能も追加され、障

害者の方にもご利用頂ける電子図書館

に優れた電子図書館

Maruzen eBook Library

Second Academy / Smart Academy

月間30万PVを超える大学公開講座のポータルサイト「Second Academy」と、30校で導入実績のある公開講座管理システム「Smart Academy」をご紹介します。

数·本

教育・研究関係に特化した個人向 け電子書籍で自己学習をサポート Knowledge Worker個人向けeBook

教育向けコンテンツや研究書を基本とした個人向けの電子書籍で、様々な教育・学習シーンでご活用いただけます。iPadやPCでの利用が可能ですので、持ち運びも便利で、個人専用の電子書籍としてご利用いただけます。

8

社会人の学びの情報アクセス改善 に向けた実践研究 マナパス ~ 社会人の大学等での学び を応援するサイト ~

文部科学省からの委託事業「社会人の 学びの情報アクセス改善に向けた実践 研究」において丸善雄松堂が開発した、 大学等における学び直しの講座情報や 支援情報を発信するポータルサイト 「マナパス」をご紹介します。 4

学習支援システムとの プラットフォーム一元化による 効果的な学習環境の構築

ご導入済みの学習支援システムと丸善雄松堂の電子教科書・教材サービス、電子図書館サービスとの連携を通じて効果的な学習環境の構築や事例をご紹介し、学生の学習を強力にサポートします。

\_\_\_\_\_

### <u>学・産・官・民が連携した</u> <u>地域課題解決プログラム</u> 知のワーキング・共創プログラム

大学(高等教育機関)、企業、行政、市民を繋ぎ、持続的・継続的に地域課題を解決する「知のワーキング」の構築プロセスと事例を紹介。大学と地域社会との連携を推進し「学びと実践」のしくみを創造するプログラムです。

周年プランディング (知的資産活用コ ンサル)

知的資産を生かすプランディングの 基盤づくり

歴史資料や活動記録は、教育機関・自 治体にとって大切な知的資産であり、 ブランディングや広報の基盤です。大 切な宝を整備することで、未来に継承 するだけでなく、新たな活動や人のつ ながりの創出に貢献します。

10

### ファブスペース支援 「創造的な学び(Creative Learning)」 を促進する学習空間

ファブスペース(アナログ・デジタル 工作機器が利用可能な施設)の地方創 生・地域振興や、高等教育でのご活用 についてご提案します。 海外で広がっ ているファブスペースの事例や、実際 に設置されている機器を展示します。

----

### <u>アクセシビリティと学習をサポート</u> リアルタイム字幕サービス

講義や講演の内容を携帯電話で入力センターに送り、専門オペレーターがリアルタイムに文字化し、Web上に配信します。大学における情報保障や合理的配慮を実現し、学習の質を向上させ、理解を深める支援をします。